



# 三井化学 グループ

**化学の力で社会課題を解決し、多様な価値の創造  
を通して持続的に成長し続ける企業グループ**

証券コード  
**4183**

2023年3月27日

**三井化学株式会社**

コーポレートコミュニケーション部副部長 兼 IRグループリーダー  
高玉 義紀

## 本日はお話しさせて頂く内容

1. 三井化学とは
2. 株主還元
3. 三井化学の事業
4. サステナビリティへの取り組み



# 1. 三井化学とは

1



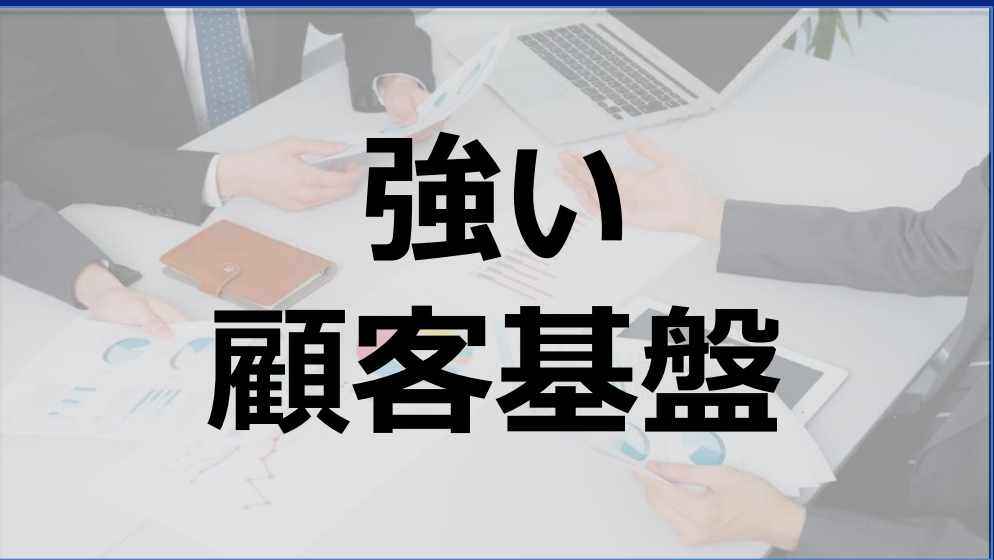
**100年の  
歴史**

2



**多様な  
製品・サービス**

3



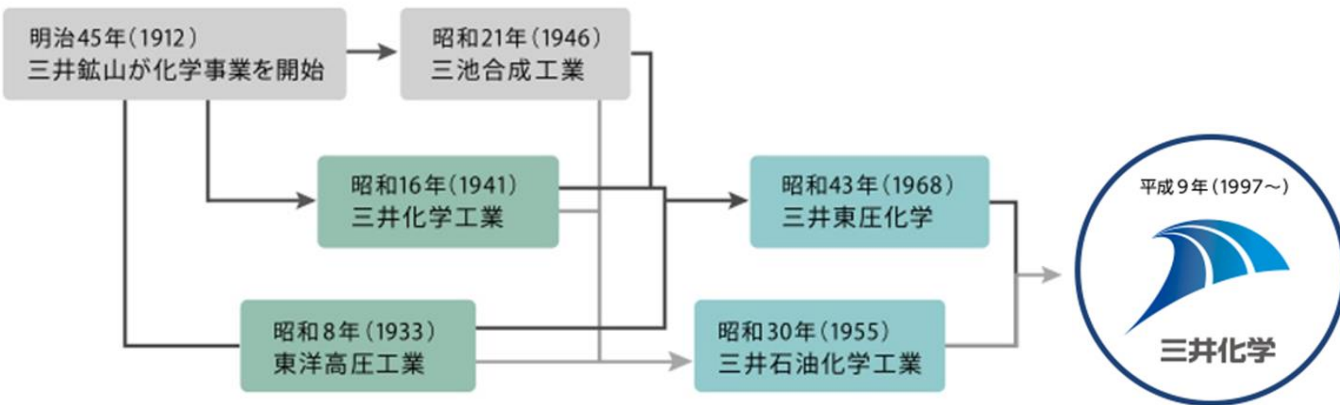
**強い  
顧客基盤**

4



**積極的な  
グローバル展開**

- ▶ 明治45年（1912）三井鉱山の石炭化学事業を発端に様々な化学事業に取り組む
- ▶ 【強い技術力を武器に100年以上にわたり社会課題解決に挑戦してきた歴史】が現在の三井化学を形づくる



**日本初**の合成インジゴ  
関連資料が  
未来技術遺産  
に登録

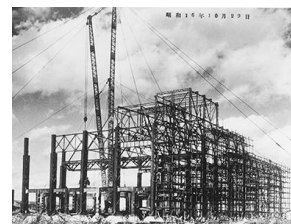


● 1915 **日本初**

合成染料  
「アリザリン」  
工業化

● 1932

合成染料  
「インジゴ」  
生産開始



● 1948 **世界初**

尿素  
大量生産  
工場操業



● 1958 **日本初**

エチレン  
プラント操業



● 1998 **世界初**

高性能包装材料  
エボリュ®  
生産開始

グラフ：売上高推移



● 2022 **世界初**

非接触・空中ディスプレイ  
技術をPOSレジに採用



● 2021 **日本初**

バイオマスナフサを  
原料にプラスチック・  
化学品製造開始

PORTOFOLIO

## IV ベーシック&グリーン・マテリアルズ

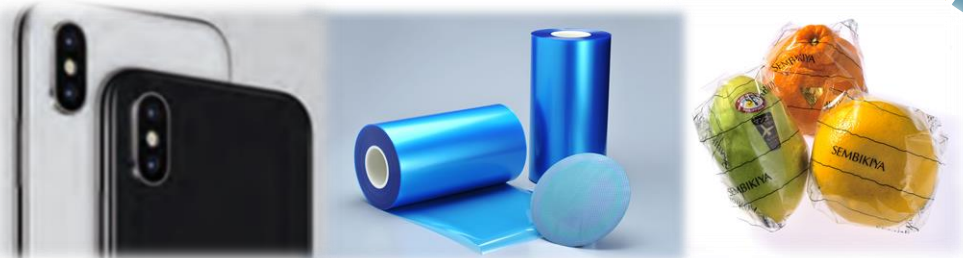
石油化学製品 | バイオ原料・誘導品 など



PORTOFOLIO

## III ICTソリューション

スマホカメラレンズ材料  
半導体・電子部品工程部材  
高機能食品包装材料 など



PORTOFOLIO

## I ライフ&ヘルスケア・ソリューション

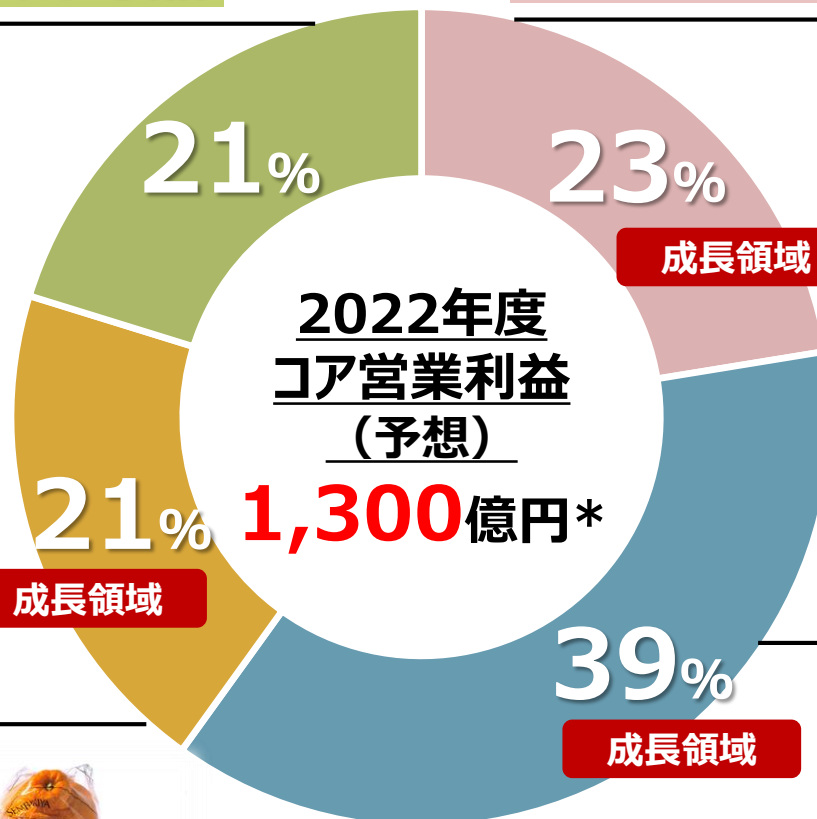
メガネレンズ材料 | 農業化学品 | 歯科材料 など



PORTOFOLIO

## II モビリティソリューション

自動車材料 | 太陽電池材料 など



\*その他全社費用等▲4%

三井化学グループの製品は、各業界のリーディングカンパニーから高い評価を受け、  
世界市場においてNo.1、No.2のシェアを誇る

PORTOFOLIO

■ **IV ベーシック&グリーン・マテリアルズ**



PORTOFOLIO

■ **III ICTソリューション**

スマホカメラレンズ材料

アップル®

世界 **No.1** シェア  
50%超

半導体・電子部品工程部材

イクロステーブ™

世界 **No.1**



PORTOFOLIO

■ **I ライフ&ヘルスケア  
・ソリューション**

メガネレンズ材料



MR™

世界  
**No.1**  
シェア約50%



PORTOFOLIO

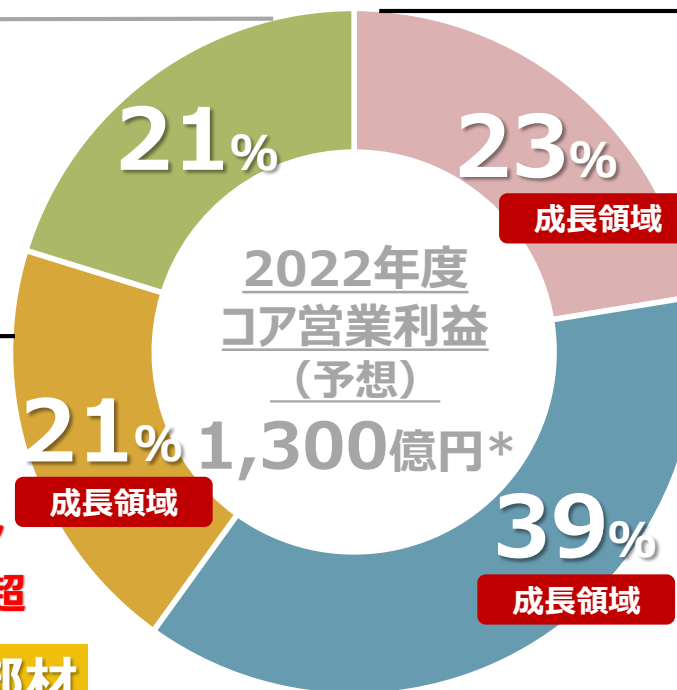
■ **II モビリティソリューション**

自動車材料

太陽電池材料

PPコンパウンド 世界 **No.2** アジア **No.1**

タフマー® 世界 **No.2** アジア **No.1**



\*その他全社費用等▲4%

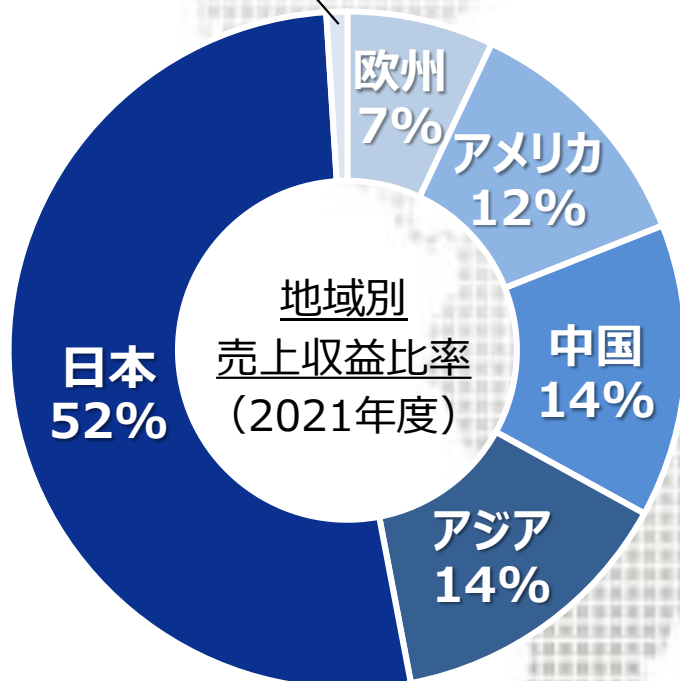
グローバルに存在感のある化学企業グループを目指して、積極的に海外展開を進める

### 海外売上収益比率

20年前  
(2001年度)  
25%

→ **48%**

その他1%



### グローバル展開

20年前  
14か国

→ **28**か国

### 従業員数

20年前  
13,212人

→ **18,780**人

うち海外在籍者比率

20年前  
12% → **39%**

### 連結対象会社数

**161**社

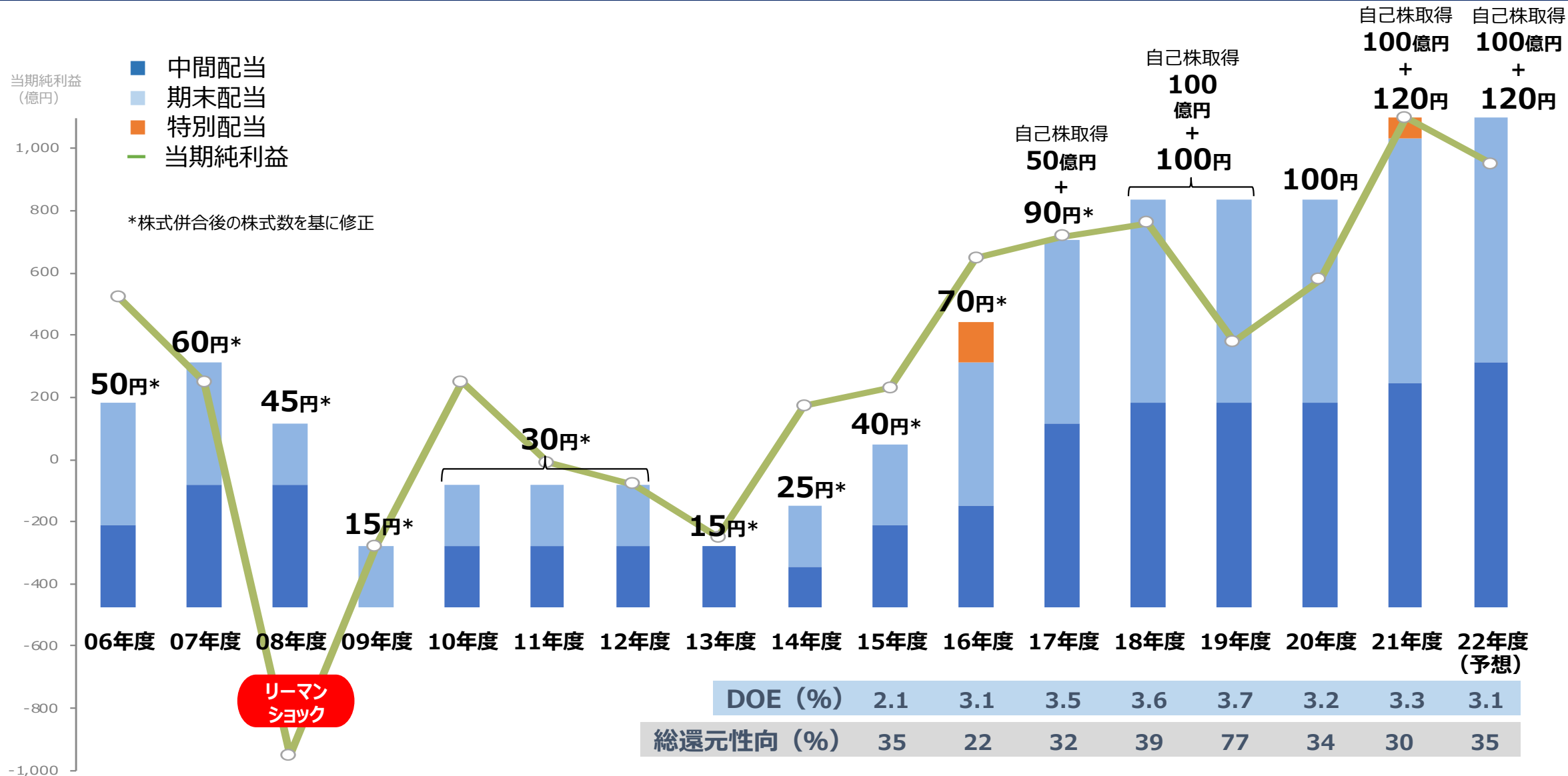
うち海外  
**107**社 (66%)





## 2. 株主還元

## 収益に苦しんだ時期も含め過去より安定かつ継続的な配当を実施



安定かつ継続的な配当と、機動的かつ柔軟な自己株式取得により、今後も株主還元の充実を図る

## 株主還元方針

✓ DOE\*3.0%以上を目指す

✓ 安定的かつ継続的な配当

✓ 機動的かつ柔軟な自己株式取得

✓ 総還元性向 30%以上

### ● 22年度配当予想

中間	期末	年間
60 <sub>円/株</sub>	+ 60 <sub>円/株</sub>	= 120 <sub>円/株</sub>

● 自己株式取得 100億円

2022年11月  
公表済み

### ● 22年度見込み

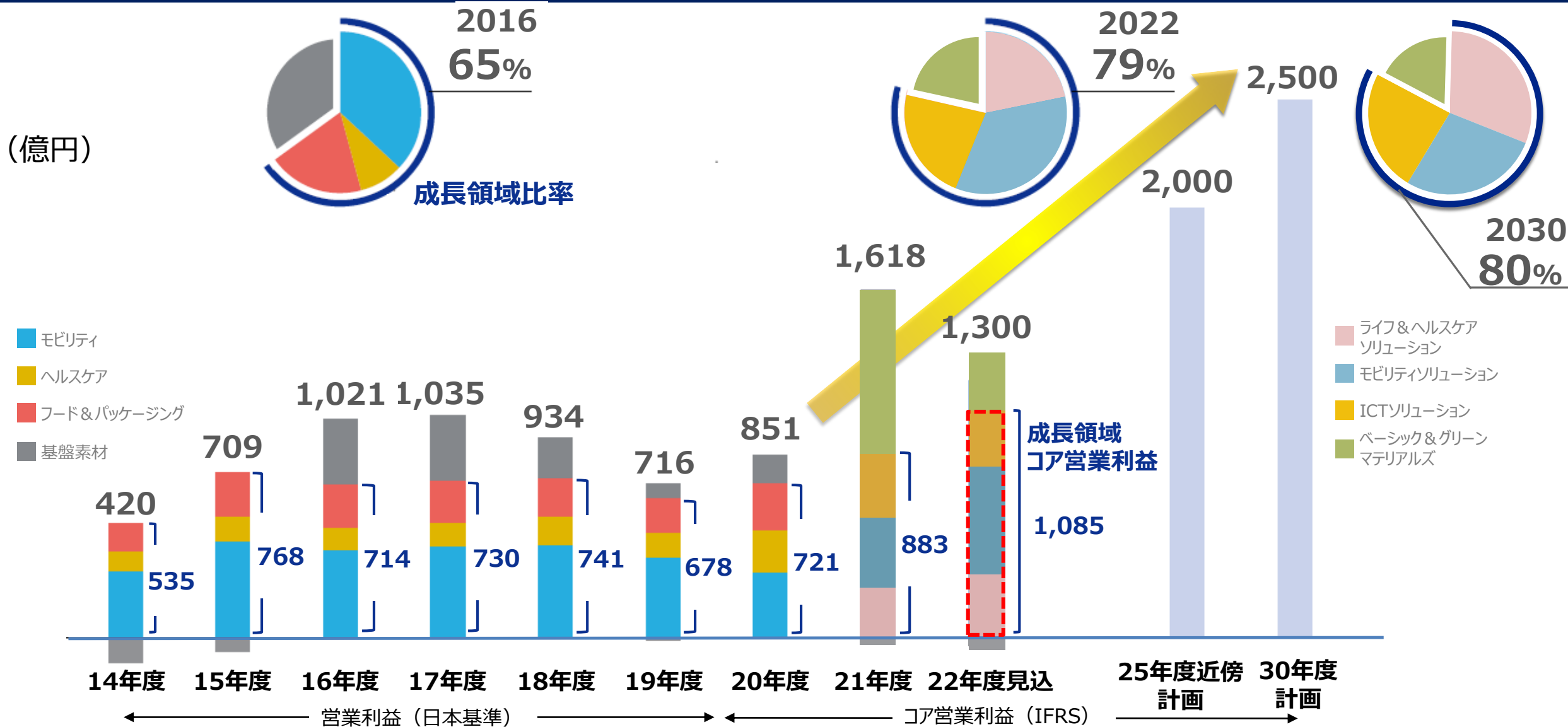
DOE	3.1%
総還元性向	35%

\*DOE：自己資本配当率 = 年間配当総額 / 自己資本



## 3. 三井化学の事業

## 2022年度成長領域のコア営業利益は1,000億円超を達成見込 更なる飛躍へ



いのちと健康、豊かなくらしに貢献するソリューションを提供し、  
生活の質（QOL）向上と安全・安心な食の提供に貢献する

## メガネレンズ 材料

高齢化、眼の健康意識、  
より快適なメガネニーズ  
などのトレンドを捉えた  
新技術を展開



MR™

シェア  
世界No.1

## 農業化学品

世界の人口増加に伴う  
食糧問題

↓  
殺虫剤・殺菌剤等の  
グローバル展開



## 歯科材料

歯科分野での

金属から樹脂  
への材料転換

↓  
・修復材  
・人工歯

3Dプリンター活用  
によるデジタル化進展

↓  
・3Dプリンター用インク

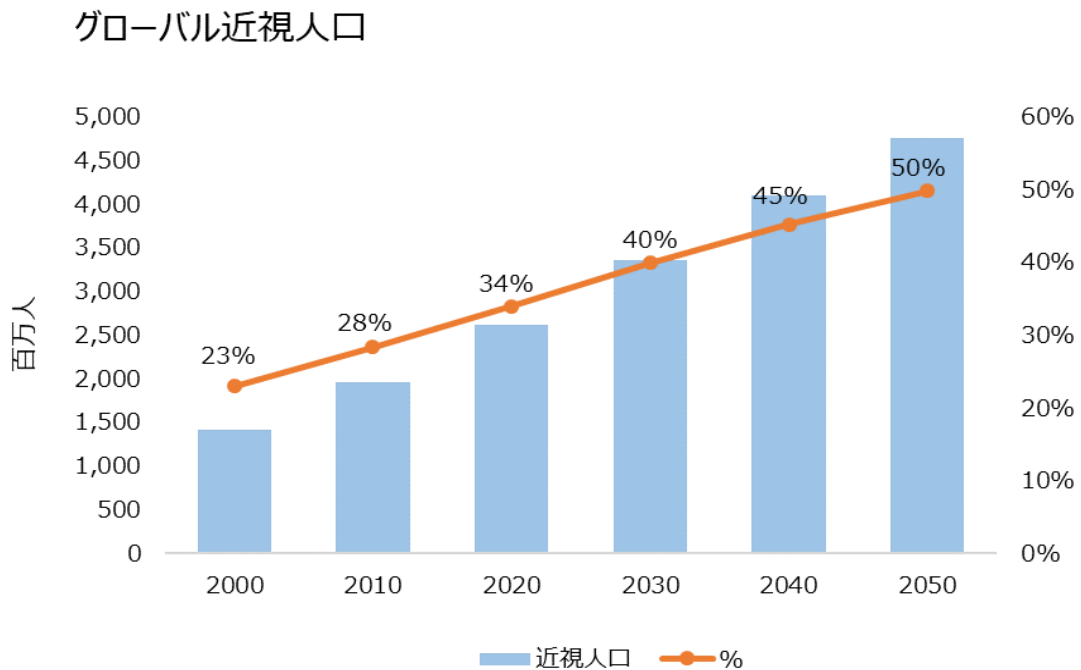


## 不織布

アジア地域を中心とした  
より高品質な紙おむつ人気の高まり

日本では  
高齢化に伴う「快適性・フィット性」等  
高機能化ニーズ増





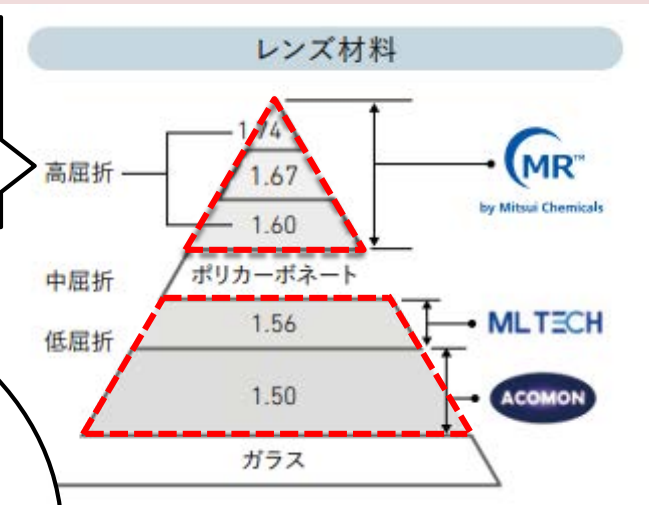
2050年 近視人口は世界の50%近くに  
メガネレンズ需要は堅調に推移

市場全体  
成長率 3%

高屈折市場  
成長率 **6~7%**



✓強度  
✓薄さを備えた  
✓軽さを備えた  
高付加価値品



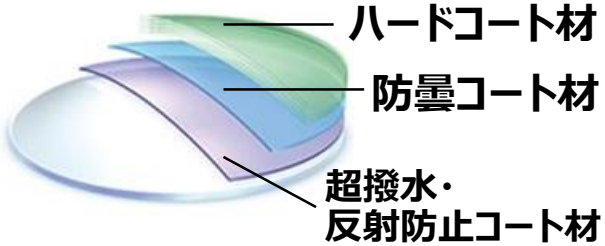
2021年3月～  
米国コストコ社による、  
当社メガネレンズ材料を  
用いたレンズの標準採用



\* 赤枠：三井化学グループが  
取り扱う領域

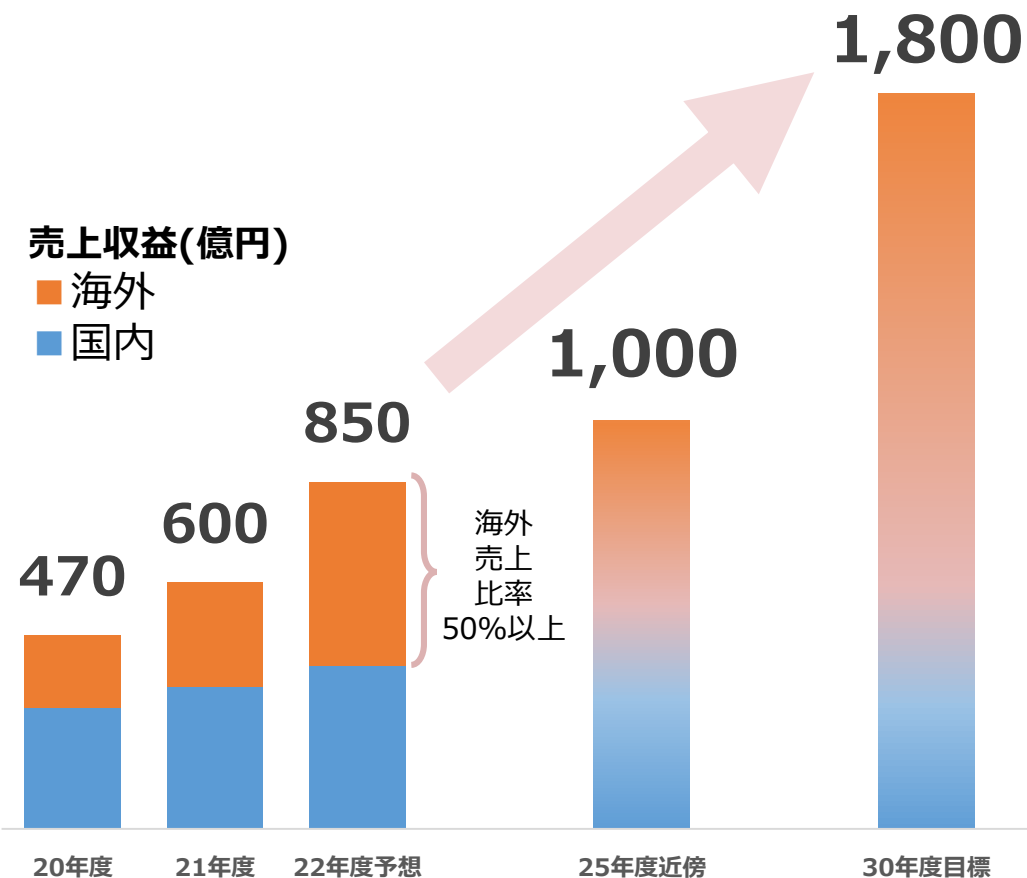
周辺素材への拡大

レンズに付加価値を与える  
高品質コーティング材





ブラジル・インド・東南アジア市場を中心に  
海外ビジネスが急拡大  
今後も海外向けが成長ドライバーに



## 世界

市場規模 \$66B  
市場成長率(世界) 2%

## 東南アジア

市場規模 \$3B  
市場成長率 4%

## インド

市場規模 \$3B  
市場成長率 4%

## ブラジル

市場規模 \$11B  
市場成長率 4%

当社グループ注力市場

高度な農薬創製技術を有し

- ・ 殺虫剤
- ・ 殺菌剤
- ・ 除草剤

を国内外に  
展開





特徴のある材料・機能・サービスの提供により、自動車軽量化・省エネ・再生可能エネルギー利用拡大などの社会課題解決に貢献し、持続的な事業成長を実現する

バンパー材

PPコンパウンド  
タフマー®いずれもシェア  
世界No.2  
アジアNo.1

ギア油添加剤

ルーカント®



内装表皮

世界No.3  
アジアNo.2

ミラストマー®



外装材料

モストロン®



ドアシール材

三井EPT™

アジアNo.2



燃料タンク

アドマー®

世界No.1





## 自動車業界のトレンド



## 当社自動車用材料主力製品

## PPコンパウンド

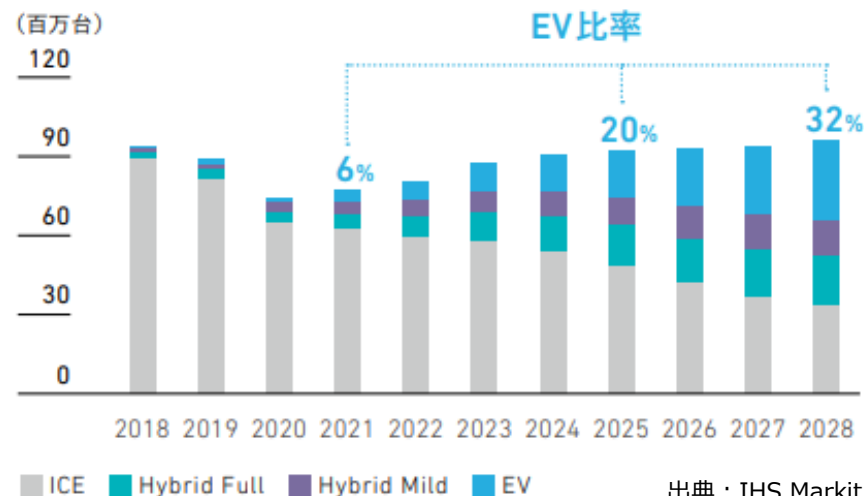
高いグローバルシェアと  
顧客ニーズに応える技術力  
を活かし成長市場を捉える



全世界9つの生産拠点、7つの研究拠点を有し、自動車メーカーのグローバル戦略にスピーディーに対応

世界の自動車におけるEV（電気自動車）比率は今後も成長  
EV化により車1台あたりのPPコンパウンド使用量増加が見込まれる

世界自動車生産台数





## タフマー®の他用途展開

従来用途

自動車用バンパー・  
インパネ用材料

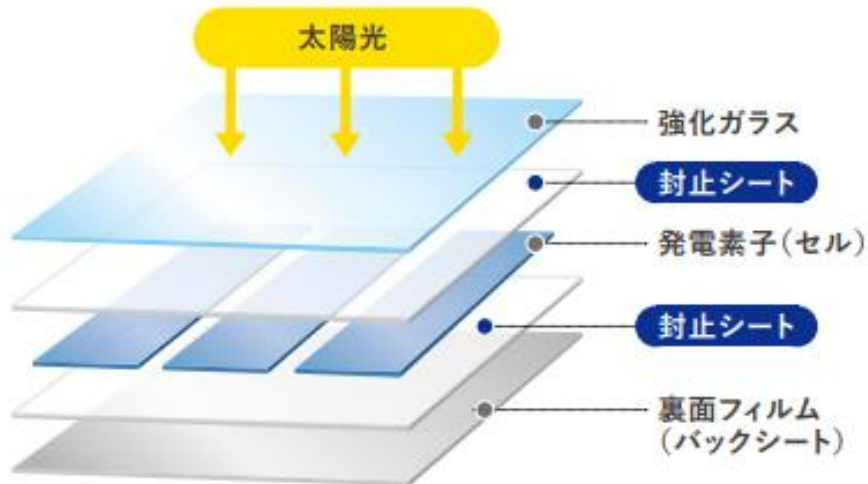


他用途展開

**太陽電池封止材用途**  
での採用拡大中



### タフマー®使用範囲



従来の封止材向け材料に比べ、  
耐久性のあるタフマー®使用により  
**太陽電池の発電効率向上、長期信頼性改善**

### 太陽光発電市場予測



出典: (株)資源総合システム

**今後も拡大が見込まれる  
太陽電池市場**

▼  
**タフマー®生産能力増強**  
(12万トン 2024年完工)  
により**成長需要獲得**を目指す

『ユニーク』なICTソリューション事業を創造・拡大し、安全・快適なインフラ、健康なくらし、持続可能な地球環境を支えるAI、Beyond 5G等の進化に貢献する

## スマホカメラ レンズ材料

スマホ等ITデバイスの  
レンズ材料として  
デジタル化に貢献

アペル®

シェア  
世界No.1



## 半導体・電子部品 工程部材

AI活用の広まり、  
IoT化の進展等が進む  
電子機器の高機能化  
により引き続き成長

イクロステープ™

シェア  
世界No.1



## 高機能食品 包装材料

・フードロス削減  
・食の安全  
に繋がる  
高機能パッケージ





**スマホ一台あたりのカメラレンズ数増加に伴い、スマホカメラレンズ材料アペル®の販売は拡大**

**アペル®新プラント  
営業運転開始 (22年8月～)**  
により急成長する市場ニーズに対応

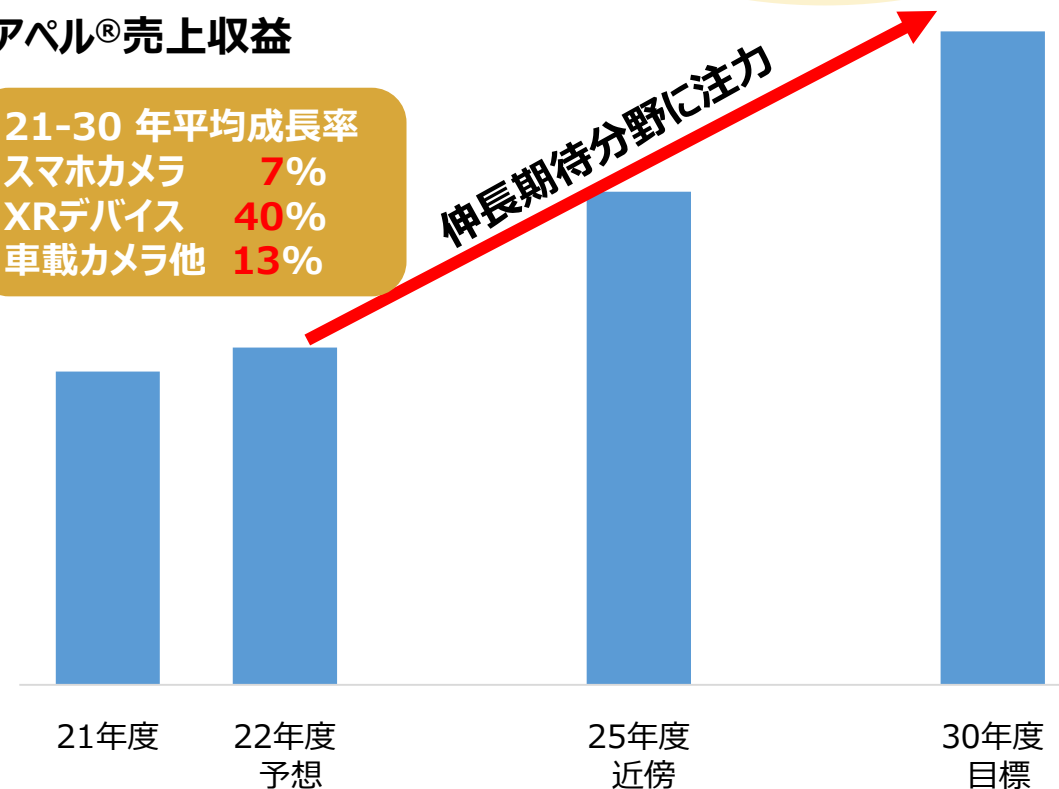
用途拡大で更なる成長



今後更なる需要拡大が期待できる  
**XR (VR/AR等) デバイス、車載カメラレンズ**  
への用途拡大を図る

アペル®売上収益

21-30年平均成長率  
スマホカメラ **7%**  
XRデバイス **40%**  
車載カメラ他 **13%**



## 新事業事例：透明接着剤を用いた、世界初※ 「非接触・空中ディスプレイ技術」をPOSレジに採用

※アスカネット調べ

### 【三井化学のソリューション】

#### ストラクトボンド® (透明接着剤)



#### 非接触・空中ディスプレイの

- ① 企画提案
- ② プロジェクトのリーディング
- ③ 技術サポート

### 【セブン-イレブンで実証実験開始】

- ・ 新しい買い物体験
- ・ 店舗従業員の安全・安心なレジ操作
- ・ レジカウンタースペースにおける効率化

#### POSレジへの採用



#### パートナー

セブン-イレブン 三井物産プラスチック  
アスカネット 東芝テック 神田工業

### 【茨城県境町 町役場に導入開始】

- ・ 非接触による感染予防

#### 窓口発券機への採用

町内関連施設への導入検討



#### パートナー

茨城県境町  
MIRAIBAR アスカネット

自治体、ホテル業界、食品流通業界、不動産業界など、さまざまな業界に課題解決を展開

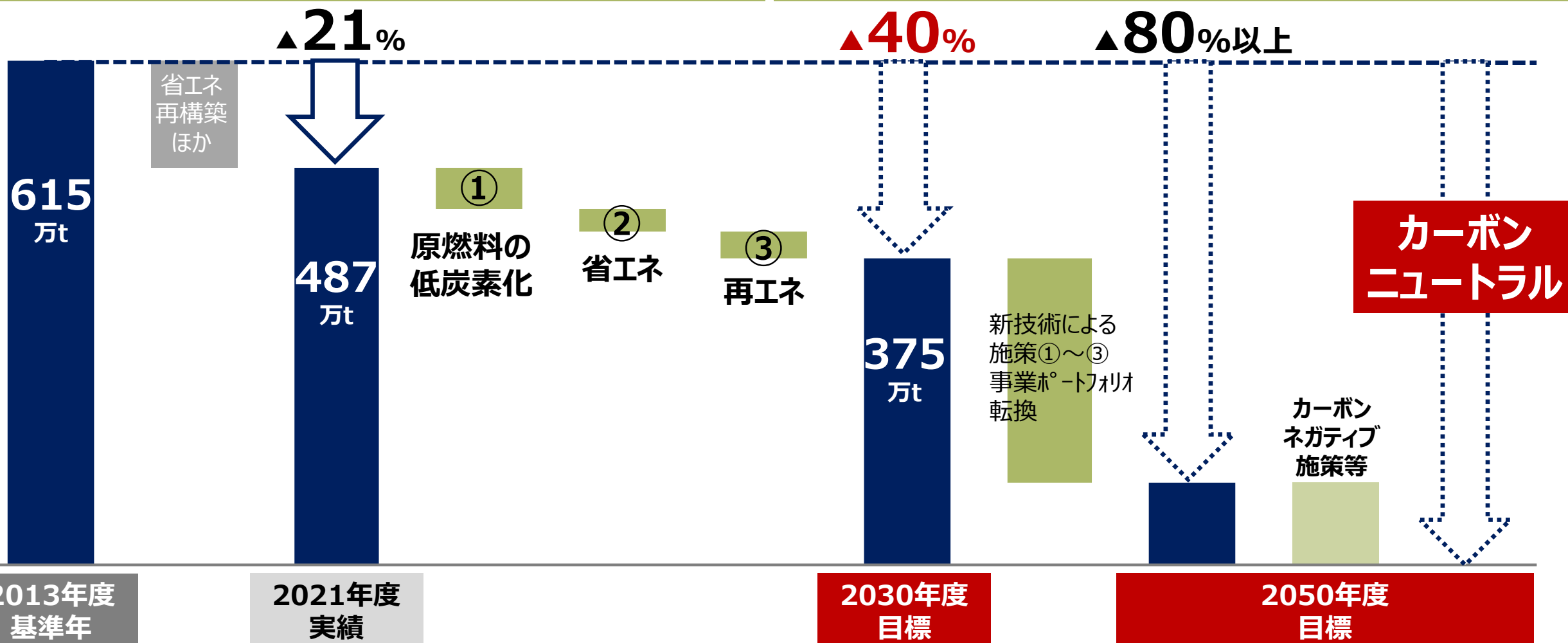


## 4. サステナビリティへの取り組み

## 三井化学グループは2050年カーボンニュートラルを目指す

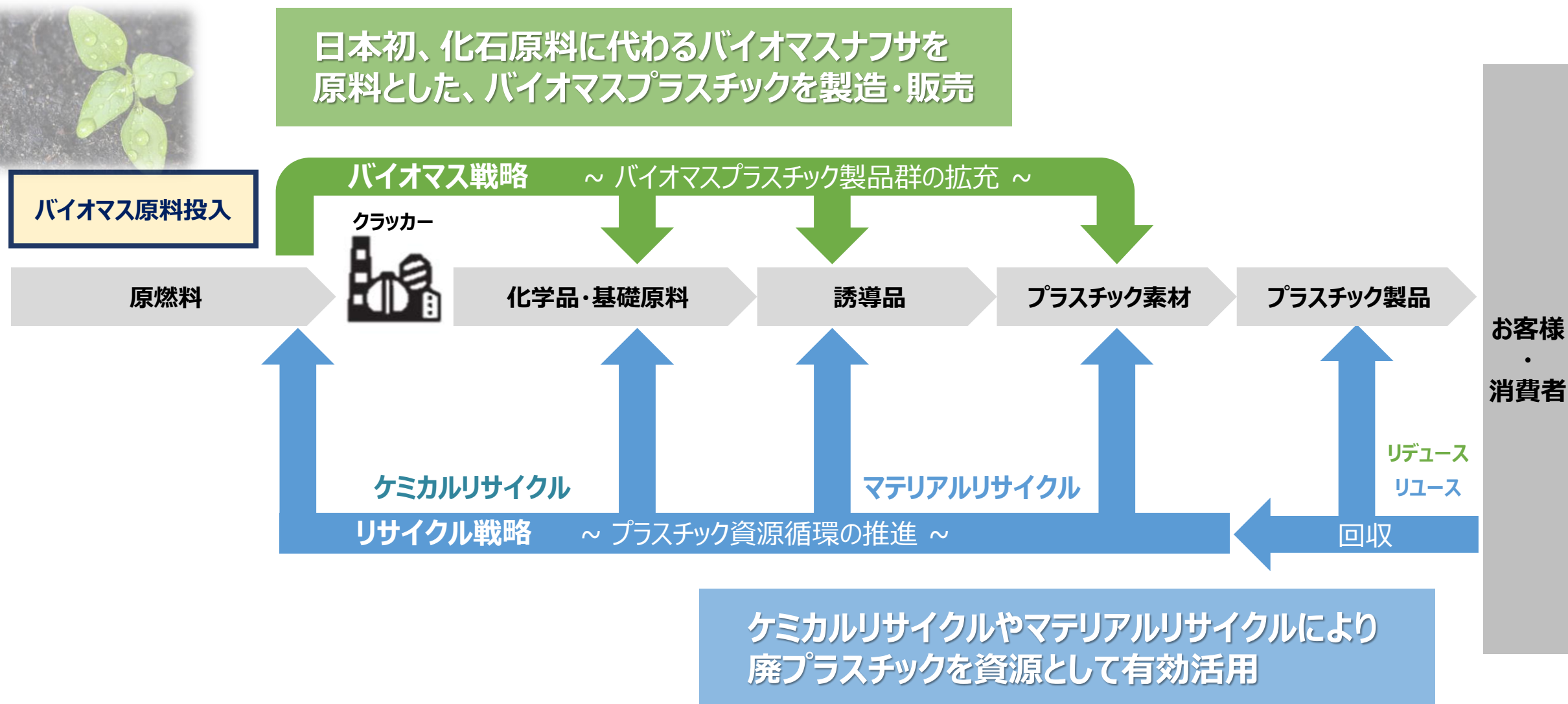
2050年カーボンニュートラルに向けた取組を進め、  
化学企業として社会変革に大きく貢献していく

GHG削減に貢献する製品をお客様と共に社会実装  
することによる「削減貢献量」の最大化を目指す





## バイオマス戦略・リサイクル戦略の推進を通じてカーボンニュートラルを目指す



## バイオマス戦略

## バイオマスPP（ポリプロピレン）採用事例



三井化学グループが製造・販売するバイオマスPP（ポリプロピレン）「Prasus®」がD&DEPARTMENT PROJECT\*のプラスチックマグカップに採用

\*2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体

## リサイクル戦略

## リサイクルPPコンパウンド採用事例



三井化学グループが製造・販売するリサイクルPPコンパウンドが米自動車メーカー2社の電気自動車（EV）に採用

## 目指すべき企業グループ像

化学の力で社会課題を解決し、多様な価値の創造を通して持続的に成長し続ける企業グループ

	25年度 近傍	30年度 目標
コア営業利益(億円)	2,000	2,500
親会社の所有者に 帰属する当期利益(億円)	1,100	1,400
ROE	10%以上	10%以上
ROIC*	7.0%以上	8.0%以上
NET D/E	0.8以下	0.8以下
総還元性向	30%以上	30%以上

\*ROIC : 投下資本利益率 = 税引き後コア営業利益 / 投下資本

未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*

ご清聴ありがとうございました

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。